

福伸電機 株式会社

養殖用自動給餌機 および給餌管理システム



企業の特徴・強み

当社は「技術の高度化」をテーマに、新技術の開発と、それらを駆使した高品質な製品の製造に努めてまいりました。お客様の要望に真摯に対応し、確かな製品を提供することこそ当社の使命と考え、商品の研究・開発、品質保証体制の確立に至るまで、幅広い取り組みを行っております。今日では自動車、住宅・産業機器、そして航空機器関連まで、広範な分野に多彩な製品と技術を提供できるようになりました。これも、お客様のご要望にお応えすると同時に、絶え間なく技術を錬磨してきた成果だと自負しております。これまでになかった製品や技術を開発し、当社自身がたくましく成長していくことで、皆様のお役に立ち、ひいては社会への貢献に繋がればと願っております。



オンリーワン認定製品・技術について



当社では1977年に漁船から養殖魚に給餌を行う省力化機器として「エア式給餌機」を商品化しました。以来、40年以上にわたり養殖用自動給餌装置の製造・販売を続け、累計約3万台の販売実績があります。これは業界全体の90%以上を占めており、この間に他社に無い独自の技術やノウハウを多く蓄積し製品に反映しています。特に、養殖場の過酷な環境下でも安定して稼動する性能が市場で高く評価されています。また、飼料収納容量で最小17Lから最大3,400Lまで8種類のラインナップを揃え、陸上養殖の小型水槽から大規模海面養殖生簀までを広くカバーし、多くの魚種に対応しています。

2008年には当社独自の製品として魚の学習効果を利用した「自発摂餌式給餌機」を発売しました。マダイ養殖では安価な投資で給餌効率を改善出来る実績が評価され多くの販売実績があります。さらに、2019年にサービスを開始した給餌管理システム「Smart Feeding System」は自動給餌機をインターネットに接続して管理するシステムで、自動化が困難とされている魚種に対しても給餌作業を遠隔操作出来ることで省力化の効果が評価され、導入する養殖事業者が増加しています。



最新トピックス・アピールポイント

現在、給餌管理システム「Smart Feeding System」を進化させ、AIを活用して魚の食欲に応じた自動給餌を実現する取組を行っています。摂餌中の魚の行動をカメラで撮影してAIが食欲を判定し、給餌機を自動で制御することで食べ残しなどの無駄のない、効率的かつ完全に無人での給餌を実現します。養殖事業者に協力していただき実用試験を実施していますが、試験の経過は良好で近日中に全国の養殖業者へサービスを開始出来る見込みです。

COMPANY PROFILE

自動車、住宅・産業機器から航空機器関連まで、多彩な製品を製造・販売しています。オリジナル製品も手掛けており、商品の企画・デザインから、設計、生産、販売、そしてアフターサービスまで一貫して実施しています。

助け合い、励まし合い、共に成長する。それが私たち福伸電機の企業文化です。専門家として責任を持った、一人ひとりの強い連携。そこから、「社会に貢献する自社オリジナル製品」、「お客様のビジネスへの貢献」など、企業としての総合力が生まれています。これからも新しい価値の創造へ。私たちは人間性と専門性を備えた『チームFUKUSHIN』として、挑戦を続けてまいります。

DATA



所在地	神奈川県福崎町福田447-1
従業員数	750名
資本金	9,900万円
設立	1961年3月
代表者	代表取締役社長 宮内 健三郎